

参考資料（調査票）



福岡市女性労働実態調査

事業所調査

＜調査ご協力のお願い＞

福岡市では、市民一人ひとりが性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するために、「福岡市男女共同参画基本計画（第2次）」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組みを進めているところです。

このたび、次期基本計画（第3次）の策定に向けて、本市に所在する事業所における従業員の実態を把握するとともに、ご意見をお聴きしたいと考えております。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年11月
福岡市

アンケート調査票は、記入後、同封してお持ち帰り封筒（切手不要）に入れて、**12月16日（火）**までに郵便ポストに投函してください。

【記入上の注意】

- このアンケート調査票のご記入は、**経営者（代表者）もしくは人事担当者（責任者）の方**にお願いいたします。
- 回答の記入は、各設問の指示に従って、該当する番号に○印もしくは所定の記入欄に数字をご記入ください。
- 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をおつけください。質問文に「1つ」、「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
- 回答は、**平成26年11月1日現在**にてご記入ください。
- 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

【調査主体】福岡市市民局男女共同参画課
TEL 092-711-4107
【調査実施機関】(株)西日本リサーチ・センター
TEL 092-751-7968

順位のない数値：%

貴事業所の概要についておたずねします。

事業所区分	1.単独事業所 28.2	2.本社・本店 68.7	3.支社・支店等 1.6	無回答 1.5
業種	1.建設業 17.8	5.卸売・小売業 20.9	9.教育・学習支援業 4.1	
	2.製造業 7.1	6.不動産業 2.6	10.サービス業 13.3	
	3.情報通信業 6.2	7.飲食店、宿泊業 1.3	11.その他 4.7	
	4.運輸業 6.0	8.医療・福祉 11.3		無回答 4.7
貴社の常用労働者数 (本社・支社を除く)	※本社（本店）、支社（支店）等、全体を含めた常用労働者数に○をつけてください			
	1.30未満 19.8	3.50～99人 24.0	5.300～499人 5.2	
	2.300～49人 19.0	4.100～299人 23.7	6.500人以上 6.3	無回答 2.1
経営組織	※常用労働者数は問1の（注）をご参照ください。			
	1.個人経営 0.8	4.合名・合資・合同・相互会社 0.0		
	2.株式会社 81.2	5.その他 14.6		無回答 1.6
	3.有限会社（同法に別ける） 1.8			

問1. 貴事業所の常用労働者（正規従業員およびパートタイム労働者）の人数を、下記の（注）を参照してご記入ください。該当者がいない欄は、「0」を記入してください。

	常用労働者数 (正規従業員+パートタイム労働者)	正規従業員数	パートタイム労働者数
男性	83.66 人	68.51 人	15.40 人
女性	65.50 人	29.81 人	34.53 人

（注）「常用労働者」とは①期間を決めずに、または1ヵ月を超える期間を決めて雇われている者、及び②臨時、日雇い、パートタイム等の労働者で前2ヵ月（9月、10月）の各月にそれぞれ18日以上雇われている者をいいます。
・「正規従業員」とは、いわゆる正社員で期間を定めずに雇われている者をいいます。
・役員は正規従業員数に含まないでください。

問2. 貴事業所の常用労働者（正規従業員およびパートタイム労働者）の大半が平均勤続年数としてあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	正規従業員	パートタイム労働者
男性	1.3年未満 2.9 2.3～5年未満 9.4 3.5～10年未満 25.3	1.1年未満 4.2 2.1～3年未満 12.5 3.3～5年未満 14.6
女性	1.3年未満 6.8 2.3～5年未満 15.4 3.5～10年未満 37.1	4.5～10年未満 9.9 5.10年以上 3.6 無回答 55.3
	4.10～15年未満 33.1 5.15年以上 24.6 無回答 4.7	1.1年未満 5.5 2.1～3年未満 16.2 3.3～5年未満 16.4

単位の無い数値：%

問3. 貴事業所で係長級以上の管理職（男女）は何人ですか。そのうち女性は何人ですか。そのうち女性はいない場合は「0」を記入してください。
下表に具体的な人数を記入してください。該当者がいない場合は「0」を記入してください。

役職	総数	うち女性
部長相当職	4.98人	0.35人
課長相当職	10.12人	1.34人
係長相当職	10.19人	1.95人
計	A 25.46人	B 3.64人
役員	4.06人	(うち女性) 0.54人

◎貴事業所の女性管理職の割合

B/A 13.7 (%)

n = 543 件
(女性計 / 総数計 × 100)
※小数点第1位まで (小数点第2位を四捨五入)



問3-1. (問3で女性管理職がいる事業所に) 女性の管理職の配置部署であてはまるものすべてに○をつけ、女性管理職人数を記入してください。
(n = 364)

1. 総務・人事・経理	62.6	1.80人 (n=228)
2. 企画・マーケティング・広報	13.2	1.93人 (n=48)
3. 情報処理	7.4	1.36人 (n=27)
4. 営業	23.9	3.80人 (n=87)
5. 販売・サービス・接客	13.7	5.02人 (n=50)
6. デザイン・編集・制作	4.4	1.67人 (n=16)
7. 生産・製造	6.9	7.48人 (n=25)
8. その他	21.2	6.52人 (n=77)

無回答 6.0

問3-2. (問3で女性管理職の割合が10%未満の事業所に) 女性の管理職が少ない(あるいは全くない)のはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(n = 353)

1. 該当する資格（社内試験合格者を含む）を持った者が少ない (いない) から	17.3
2. 該当する経験、資質、能力、適性を持った者が少ない (いない) から	59.2
3. 該当する勤続年数や年齢に達した者が少ない (いない) から	25.2
4. 管理職になりたがる女性が少ない (いない) から	17.3
5. 家庭的責任との関係で仕事の融通がきかないから	6.2
6. 出産、育児、介護等による一時休職が予想されるから	1.1
7. 結婚や出産を機に退職する女性が多いから	10.2
8. 男性を管理職に登用するのが慣行であるから	7.6
9. 女性管理職のモデル例が少ない (いない) から	19.0
10. その他	4.8

無回答 9.6

単位の無い数値：%

問4. 今後、自社の女性管理職割合を増やしたいと思いますか。

1. 増やしたいと思います	16.5
2. 可能であれば増やしたいと思います	66.5
3. 増やしたいとは思わない	12.5

無回答 4.5

問5. 貴事業所では、女性管理職の登用目標を設定していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 設定している	6.0	問5-1 A	3. 設定していない	73.4	問5-2 A
2. 今後設定する予定	6.3		4. 設定する予定はない	11.3	

無回答 2.9

問5-1. (問5で1. または2. と答えた方に) 自社の女性管理職の登用目標を設定している (もしくは設定を予定している) 理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
(n = 76)

1. 政府が義務化を進めているから	9.2
2. 政府が優遇策を検討しているから	3.9
3. 企業のイメージアップにつながるから	13.2
4. 少子高齢化社会に対応した企業戦略として女性従業員の活用に組み込む必要があるから	44.7
5. 採用時に女性を積極的に採用しているから	31.6
6. これまでに登用した管理職が成果や実績を上げているから	36.8
7. 管理職候補の人材が育ってきているから	31.6
8. 経営層が明確に管理職への登用を表明しているから	17.1
9. 教育訓練や研修等の実施により管理職候補女性の能力・意欲の底上げに取り組んでいるから	27.6
10. その他	9.2

無回答 3.9

問5-2. (問5で3. または4. と答えた方に) 自社の女性管理職の登用目標を設定していない (もしくは設定を予定はない) 理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
(n = 523)

1. 目標を設定することが義務化されていないから	22.9
2. 目標を設定することに対する優遇策がないから	6.9
3. どのくらいの目標値にすればよいかわからないから	14.5
4. 目標を設定することに対して必要性を感じないから	57.9
5. 採用時に女性を積極的に採用していないから	7.5
6. これまでに登用した管理職が成果や実績を上げていないから	0.2
7. 管理職候補の人材が育っていないから	27.5
8. 経営層が明確に管理職への登用を表明していないから	8.2
9. 管理職候補女性の能力・意欲の底上げのための教育訓練や研修等には取り組んでいないから	5.2
10. その他	15.7

無回答 1.7

順位のない数値：%

女性社員の活躍推進についておたずねします。

問6. 貴事業所では、女性活躍推進への取り組みを進めていますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

- 1.進めている **48.0**→問6-1、問6-2へ 2.進めていない **50.9**→ 問6-3へ 無回答 **1.1**

問6-1. (問6で1.と答えた事業所に) 貴事業所で、進めている女性活躍推進のための具体的な取組
みとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(n = 296)

- 1.意欲と能力のある女性を積極的に採用・登用 **74.7**
 - 2.性別に関係なく、能力主義による人事管理方針 **72.0**
 - 3.出産・育児をサポートする福利厚生制度の充実 **49.0**
 - 4.性用のトイレ・更衣室などの設備の充実 **33.1**
 - 5.事業所内保育施設の設定 **3.0**
 - 6.女性がない部署や業務に、積極的に女性を配置 **6.8**
 - 7.体力面での個人差を補う器具や設備を設置するなど、働きやすい職場環境づくり **6.1**
 - 8.女性の活躍推進に関する担当者の設置 **6.8**
 - 9.男女共同参画に関する研修を行うなど、社員への意識啓発 **12.5**
 - 10.管理職に対し、女性活用の重要性についての研修などによる意識啓発 **6.4**
 - 11.女性従業員を対象とした能力開発・意識向上の研修などの実施 **12.5**
 - 12.短時間勤務・在宅勤務（テレワーク）など勤務形態の多様化 **21.6**
- 無回答 **0.7**

問6-2. (問6で1.と答えた方に) 自社の女性活躍推進への取組みを進めている主な理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1.優秀な人材の確保・定着のため **86.8**
 - 2.労働力確保のため **43.2**
 - 3.女性従業員が望んでいるから **10.1**
 - 4.国や自治体が推進しているから **9.5**
 - 5.企業のイメージアップになるから **8.4**
 - 6.女性の視点を生かした商品開発やサービスなどができるから **32.8**
 - 7.その他 **3.0**
- 無回答 **4.1**

問6-3. (問6で2.と答えた方に) 自社の女性活躍推進への取組みを進めていない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(n = 314)

- 1.取組みをしながらも優秀な人材は集まるから **17.8**
 - 2.取組みをしながらも労働力確保は十分だから **39.2**
 - 3.女性従業員が望んでいないから **16.2**
 - 4.女性従業員が少ないから **9.2**
 - 5.取組みを進めるだけの人的・財政的余裕がないから **32.8**
 - 6.その他 **14.3**
- 無回答 **3.2**

順位のない数値：%

育児休業制度についておたずねします。

問7. 貴事業所では、就業規則等の文書の中で、育児休業制度についての規定を明示し、周知していますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

- 1.はい **88.7** → 問7-1へ 2.いいえ **10.5** 無回答 **0.8**

問7-1. (問7で1.と答えた事業所に) 休業期間をどのように定めていますか（子どもが何歳になるまで育児休業を取得することができますか）。あてはまるもの1.2に○をつけてください。
(n = 547)

- 1.子が1歳未満（パパ・ママ育児プラス **82.6** 3.子が2歳以上3歳未満 **5.1**
※1歳6ヶ月までの延長も含む)
- 2.子が1歳以上2歳未満 **9.0** 4.子が3歳以上 **2.6** 無回答 **0.7**

(注) 子どもの年齢ではなく年数等で決めている場合は、子どもの年齢に換算してお答えください。

※ パパ・ママ育児プラス … 父母ともに育児休業を取得する場合、子が1歳2ヶ月に達するまでの間に1年間育児休業を取得可能とする制度。

問8. 育児休業を取得した際の、賃金の取り扱いについてあてはまるもの1.2に○をつけ、「2.一定額を支給」または「3.基本給の一定割合を支給」に該当する場合、具体的な数値についてもお答えください。

- 1.全額支給 **2.9**
- 2.一定額を支給 **0.6** ⇨ (**70,000**) 円
- 3.基本給の一定割合を支給 **1.6** ⇨ (**3.13**) 割
- 4.支給しない（雇用保険の育児休業給付金のみ支給） **89.0**
- 5.その他 **0.5** 無回答 **5.3**

問9. 貴事業所では、女性社員が結婚や出産をきっかけとして休職・退職することについてどのように考えられていますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

- 1.結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を継続してほしい **64.2**
- 2.一旦退職しても、育児が一段落したら、再雇用制度を利用して復職してほしい **13.3**
- 3.結婚するまで働いてほしい **1.9**
- 4.出産するまで働いてほしい **4.9**
- 5.わからない **12.2** 無回答 **3.6**

■単位のない数値：%

問 10. 貴事業所では、男性従業員の育児休業取得など育児参加を促進するためにどのような措置をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1.妻が育児に専念できる場合（専業主婦の場合等）でも、妻の産後8週間は夫である男性従業員が育児休業を取得できることを周知する 18.8
2.育児休業制度に関する管理職向けの研修を通じ、男性従業員の育児休業取得への理解を深める 5.5
3.育児休業制度に関する従業員向けの研修を通じ、男性従業員の育児休業取得への理解を深める 7.0
4.経済的な不安感を軽減するために雇用保険から支給される「育児休業給付金」や育児休業期間中の社会保険料負担の免除について周知する 15.7
5.復帰後のポスト等の待遇について、情報提供する 4.1
6.勤務時間、勤務地、担当業務等の限定制度を導入し、特に子育て期の従業員の利用を図る 5.3
7.男性の育児休業取得に関する好事例を収集し、男性従業員に紹介する 1.0
8.「ノー残業デー」や「ノー残業ウィーク」の導入などを通じ、所定外労働の削減を図る 20.1
9.年次有給休暇の年間取得計画を作成する等、取得を容易にするための措置を講じる 13.0
10.その他 1.8
11.措置は何も講じていない 48.0 | 無回答 4.1 |
|---|----------------|

問 11. 貴事業所では、育児休業中の従業員の円滑な職場復帰を図るためどのような措置をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1.休業中に情報（社内報、Eメール等）による職場・仕事に関する情報提供）を提供する 25.0
2.職場復帰のための講習（職場復帰前講習、職場復帰後講習）を実施する 3.1
3.相談窓口を設ける 19.4
4.その他 2.9
5.措置は何も講じていない 53.0 | 無回答 4.9 |
|---|----------------|

問 12. 貴事業所では最近3年間に、産前産後休暇及び育児休業中の従業員のいる職場に代替要員を採用しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1.すべての取得者について採用した 15.2 → 問 12-1-1
2.一部の取得者について採用した 18.3 → 問 12-1-1、問 12-2-1
3.採用しなかった 19.1 → 問 12-2-1
4.休業者がいなかった 45.7 | 無回答 1.6 |
|---|----------------|

問 12-1. (問 12で1、または2、と答えた事業所に) 採用した代替要員の内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

[n = 207]

- | | |
|---|----------------|
| 1.新規に正規従業員を採用した 35.3
2.新規にパートタイム労働者、派遣社員などの臨時労働者を採用した 72.9 | 無回答 2.4 |
|---|----------------|

■単位のない数値：%

問 12-2. (問 12で2、または3、と答えた事業所に) 代替要員（の一部）を採用しなかったのはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

[n = 231]

- | | |
|--|-----------------|
| 1.休業者が出ても現有人員で対応できるから 67.5
2.募集したが、適当な人材がなかったから 9.1
3.代替要員採用に人件費・コストがかかると 13.4
4.休業期間が短く、休業中に代替要員を戦力化できないから 3.0
5.休業者が復帰した時、代替要員の配属に困るから 15.6
6.休業者が復帰した時、復帰者の配属に困るから 9.1
7.その他 3.9 | 無回答 14.7 |
|--|-----------------|

介護休業制度についておたずねします。

○介護休業制度…対象家族1人につき、要介護状態に至るごとに1回、通算して93日まで介護休業を取得可能。

問 13. 貴事業所では、就業規則等の文書の中で、介護休業制度についての規定を明示し、周知していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|----------------|
| 1.はい 81.0 → 問 13-1-1
2.いいえ 17.8 | 無回答 1.1 |
|--|----------------|

問 13-1. (問 13で1、と答えた事業所に) 対象家族1人あたりの休業期間をどのように定めていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

[n = 500]

- | | |
|--|----------------|
| 1.通算93日まで 87.0
2.通算93日を超える期間 10.8 | 無回答 2.2 |
|--|----------------|

問 14. 貴事業所で平成25年（平成25年1月1日～平成25年12月31日）に介護休業を開始、終了した従業員の復職状況について、次の区分により下表に人数をご記入ください。

	女	性	男	性
(1) 介護休業を開始した人			0.05 人	0.03 人
(2) (1)のうち、復職した人			0.05 人	0.02 人
(3) (1)のうち、復職予定であったが退職した人			0.01 人	0.01 人

(注)・同一労働者が期間内に複数の対象家族について利用した場合はその対象家族の人数を計上してください。

・該当者がいない場合は「0」と記入してください。

単位のない数値：%

問 15. 介護休業を取得した際の、賃金の取り扱いについてあてはまるもの1つに○をつけ、「2.一定額を支給」または「3.基本給の一定割合を支給」に該当する場合は、具体的な数値についてもお答えください。

1.全額支給 **3.4** () 円 () 割

2.一定額を支給 **0.2** () 円 () 割

3.基本給の一定割合を支給 **1.6** () 割 () 割

4.支給しない **80.1** () 割 () 割

5.その他 **0.6** () 割 () 割

無回答 **14.1**

介護休業制度についておたずねします。

○介護休業制度…要介護状態の対象家族が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日介護休暇を取得可能。

問 16. 貴事業所では、就業規則等の文書の中で、介護休業制度についての規定を明示し、周知していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.はい **64.0** → 問 16-1、問 16-2へ 2.いいえ **33.5** 無回答 **2.4**

問 16-1. (問 16 で1.と答えた事業所に) 休暇期間をどのように定めていますか。対象家族の人数ア及びイについてそれぞれお答えください。

[n = 395]

ア.対象家族が1人	1.5日 88.4	2.6日以上 6.6	無回答 5.1
イ.対象家族が2人以上	1.10日 85.6	2.11日以上 5.8	無回答 8.6

問 16-2. (問 16 で1.と答えた事業所に) 貴事業所で取得者はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.はい **9.4** → 問 16-3へ 2.いいえ **89.6** 無回答 **1.0**

問 16-3. (問 16-2 で1.と答えた事業所に) 休暇取得者は何人ですか。次の区分により下表に人数をご記入ください。

[n = 37]

1.女性 3.10 人	2.男性 5.13 人
--------------------	--------------------

単位のない数値：%

育児休業制度、介護休業制度の運用により生じた変化及び問題点についておたずねします。

問 17. 育児休業・介護休業制度の運用によって生じる(1)変化(2)問題点のうち、貴事業所にあてはまるものがありますか。育児休業、介護休業のそれぞれについて、あてはまるものを3つまで選び番号を下枠内に記入してください。

(1) 変化 《左:育児休業, 右:介護休業》

1.女性の勤続年数が伸びる 57.5、18.2	5.安定した人材採用・育成計画が立てられる 17.8、20.1
2.能力のある人材を確保できる 40.5、38.1	6.従業員の労働意欲が高まる 25.1、31.9
3.長期的な視点で女性を育成できる 35.8、11.8	7.その他 0.2、0.3
4.退職者が減る 33.2、44.7	

無回答 **18.2、31.0**

○育児休業制度 →

○介護休業制度 →

(2) 問題点 《左:育児休業, 右:介護休業》

1.休業者の復帰時の能力低下 16.9、12.3	5.休業者が復帰した後の配属 21.4、14.3
2.他の従業員の負担が大きくなる 61.3、54.5	6.昇進・昇給などの取扱い 7.9、9.2
3.即戦力となる代替要員の確保が困難 56.1、49.4	7.休業中の賃金保障の負担 8.9、10.4
4.休業者が復帰した後の代替要員の処遇 31.4、25.3	8.その他 1.0、0.8

無回答 **16.0、26.4**

○育児休業制度 →

○介護休業制度 →

再雇用制度の実施状況についておたずねします。

○再雇用制度…ここでは、妊娠、出産、育児、介護等の理由により退職した男女従業員を、同一企業に再び雇う制度をいいます。

問 18. 貴事業所では再雇用制度を設けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.設けている **28.0** → 問 18-1へ 2.現在検討中 **15.7** 3.設けていないし検討もしていない **52.2**

無回答 **4.1**

無位のない数値：%

問 18-1. (問 18 で 1. と答えた事業所に) 過去3年間に、この制度により再雇用した従業員がいますか。 [n=173]

1. 正規従業員で雇用した者がいる	37.0	→	男性 (3.35) 人	女性 (1.53) 人
2. 非正規従業員で雇用した者がいる	27.2	→	男性 (2.96) 人	女性 (3.05) 人
3. 再雇用した者はいない	32.9			

無回答 9.2

女性の再就職状況についておたずねします。

問 19. 貴事業所ではこの3年間に、中途採用した女性の正規従業員がいますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

1. 採用した	61.6	→	問 19-1^
2. 採用していない	36.3	→	問 19-2^

無回答 2.1

問 19-1. (問 19 で 1. と答えた事業所に) 女性の正規従業員を中途採用したのどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 [n=380]

1. 即戦力となる人が必要としたため	72.4
2. 自社で育成できない人材を採用するため	6.6
3. 退職者の補充のため	66.3
4. 事業の拡大に対応するため	22.6
5. 新卒者が採用できなかったため	4.7
6. その他	1.6

無回答 0.5

問 19-2. (問 19 で 2. と答えた事業所に) 女性の正規従業員を中途採用をしなかったのはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 [n=224]

1. 求人需要そのものがなかったため	82.1
2. 長期勤務が期待できないため	2.7
3. 家事などで仕事に支障が出るため	1.3
4. 残業や休日出勤ができないため	0.9
5. 新卒者に比べて教育訓練が難しかったため	1.8
6. 事業異動が難しかったため	1.3
7. 職業意識が低いため	0.0
8. 過去の経験や技術があてにならないため	2.7
9. その他	7.1

無回答 6.7

無位のない数値：%

問 20. 中途採用を実施する際に重視する主な条件は何ですか。女性の正規従業員、女性の非正規従業員それぞれについて、あてはまるものを3つまで選び番号を下の枠内に記入してください。過去3年間に中途採用を実施していない事業所も、考え方をお知らせください。

1. 仕事上の能力・経験	86.9、67.7	5. 人柄	73.9、60.6
2. 資格	21.1、13.0	6. 健康・体力	41.0、30.0
3. 学歴	2.3、0.5	7. 働ける時間や日数や曜日	17.7、54.0
4. 年齢	24.3、13.6	8. その他	0.2、0.0

無回答 4.7、14.6

《左：正規従業員、右：非正規従業員》

○女性の正規従業員	→		
○女性の非正規従業員	→		

パートタイム労働者の雇用についておたずねします。

平成26年11月1日現在、パートタイム労働者を雇用している事業所のみお答えください。パートタイム労働者を雇用していない事業所は問 27へお進みください。

「パートタイム労働者」とは、次のいずれかの条件を満たす人です。

- ① 1週間の所定労働時間が通常の労働者（正社員）よりも短い労働者
- ② 事業所において「パート」「パートタイム」「定時社員」「契約社員」「準社員」「嘱託」「アルバイト」等名称の如何を問わず、常用労働者の中で正社員以外の労働者として処遇されている人をさしています。ただし、**学生アルバイトと派遣社員**は除きます。

問 21. パートタイム労働者の雇用理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 人件費が割安だから（労務コストの効率化）	26.7
2. 業務が増加したから	19.0
3. 正社員の採用、確保が困難だから	12.8
4. 人が集めやすいから	7.8
5. 繁忙期に対処するための一時的な増員だから	7.8
6. 短時間だけでも働いてくれる人を採用したいから	32.4
7. 経験・知識・技能のある人を採用したいから	19.9
8. 簡単な仕事内容だから	15.1
9. 仕事が減ったときに雇用調整が容易だから	7.0
10. 退職した正社員を再雇用したいから	9.7

無回答 35.0

無位の不在数値：%

問 25-2. (問 25 で 1. と答えた事業所に) 職務・責任が正社員とほとんど同じパートタイム労働者の 1 時間当たりの賃金と正社員の 1 時間当たりの賃金は均衡(ハランス)はとれていますか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

(n = 99)

- 1. 均衡している 50.5
- 2. 現在均衡していないが、今後均衡するようになりたい 16.2
- 3. 現在均衡していないし、今後も均衡させる予定はない 23.2
- 4. その他 0.0

無回答 10.1

問 26. パートタイム労働者から正社員への転換制度を設けていますか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

- 1. 転換制度がある 29.5 (過去 3 年間で転換した従業員数：3.96 名)
- 2. 転換制度はない 33.5

無回答 37.0

※制度ありとは：就業規則・労働協約・内規等、文書で規定されていることや、慣行としてあることをいいます。

ワーク・ライフ・バランスについておたずねします。

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と家庭生活、地域生活、自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで生活できることをいいます。

問 27. 「ワーク・ライフ・バランス」の意味を知っていますか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

- 1. 知っている 58.8
- 2. 知らない 19.1
- 3. 意味までは知らないが、見聞きしたことはある 19.8

無回答 2.3

問 28. 「ワーク・ライフ・バランス」を推進するための取組みについて貴事業所はどう思いますか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

- 1. 取り組み必要がある 25.0
- 2. どちらかといえは取り組み必要がある 33.5
- 3. どちらかといえは取り組み必要はない 10.7
- 4. 取り組み必要はない 4.5
- 5. わからない 23.5

無回答 2.8

無位の不在数値：%

問 22. パートタイム労働者が担当している業務の位置づけは次のうちどれですか。あてはまるものうち高い割合のものを 3 つまで選び○を付けてください。

- 1. 正社員の補助 45.9
- 2. 単純作業 30.5
- 3. 正社員と同じ基幹的作業 24.6
- 4. 店長・リーダーなどの管理的業務 0.8
- 5. 専門的知識・技術が必要な業務 18.3

無回答 34.5

問 23. パートタイム労働者に適用されているもの 5 つに○を付けてください。

- 1. 昇給 31.9
- 2. 賞与 25.8
- 3. 退職金 4.1
- 4. 昇進 3.9
- 5. 正規従業員への転換 34.2
- 6. 就業規則 50.4
- 7. 特になし 5.3

無回答 34.5

問 24. パートタイム労働者の今後の活用方法としての方針・考えは次のうちどれですか。あてはまるもの 5 つに○を付けてください。

- 1. 正社員の補助として使っていきたい 38.9
- 2. 単純作業等の労働力として使っていきたい 21.1
- 3. 正社員とともに基幹的労働力として使っていきたい 30.5
- 4. 正社員に代えて基幹的労働力として使っていきたい 4.1
- 5. 専門知識・技術が必要な場合の労働力として使っていきたい 19.0
- 6. 店長やリーダーなどの管理的職務を担わせていきたい 2.4
- 7. パートタイム労働者から派遣社員・契約社員に切り替えていきたい 6.0
- 8. 特の方針・考えはない 3.6

無回答 35.3

問 25. パートタイム労働者のうち、「職務」と「責任」の両方が正社員とほとんど同じ者はいますか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

- 1. 職務・責任が正社員とほとんど同じパートタイム労働者がいる 16.0
- 2. 職務・責任が正社員とほとんど同じパートタイム労働者はいない 49.1

無回答 34.8

問 25-1. (問 25 で 1. と答えた事業所に) 職務・責任が正社員とほとんど同じパートタイム労働者がパートタイム労働者全体に占める割合はどの程度ですか。あてはまるもの 1. 2 に○を付けてください。

(n = 99)

- 1. 1 割未満 56.6
- 2. 1 割以上 3 割未満 18.2
- 3. 3 割以上 5 割未満 8.1
- 4. 5 割以上 17.2

無回答の割合：%

問28-1. (問28で1, または2, と答えた事業所に) 取り組みが必要があるとした理由は何ですか。
主な理由としてあてはまるものを2つまで選びOをつけてください。
(n = 361)

1. 多様な有能な人材の獲得や定着が可能となる	37.4
2. 従業員の満足度、仕事への意欲が高まることなどにより、生産性が向上する	75.6
3. 仕事の進め方が合理的に見直されて効率が高まる	38.2
4. 多様な人材の能力を活かすことで、様々なニーズや環境の変化への対応が可能となる	20.2
5. 仕事以外の活動に関わることで得た視点の広がりや創造性が、企業にフィードバックされる	19.4
6. その他	1.1
無回答 0.3	

問28-2. (問28で1, または2, と答えた事業所に) 具体的にはどのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選びOをつけてください。

1. 経営者の意識改革	29.6
2. 労働時間の見直し	33.5
3. 在宅勤務（テレワーク）の導入	10.0
4. 仕事の進め方や内容の見直し	62.3
5. ITを活用した業務の効率化	20.8
6. 労働時間に関わらず、成果に応じて評価する制度の導入	20.8
7. 従業員の働き方に関するニーズの把握	32.7
8. 多様な休暇制度や短時間勤務制度の導入	24.9
9. 複数の仕事をこなせる人材の育成	34.1
10. 仕事や人の合理的な配分が可能な柔軟な組織づくり	37.7
11. 職場風土の改	47.6
12. 面立支援に関する情報の提供	13.9
13. その他	0.6
無回答 0.8	

※在宅勤務（テレワーク）とは：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことをいいます。従業員は自宅等で勤務し、会社とはパソコンとインターネット、電話等で連絡を取ります。

問28-3. (問28で3, または4, と答えた事業所に) 取り組みが必要がないとした理由は何ですか。主な理由としてあてはまるものを2つまで選びOをつけてください。
(n = 94)

1. 特に対策をしなくても優秀な人材は集まるから	16.0
2. 特に対策をしなくても業績は良好だから	6.4
3. 人的・財政的余裕がないから	42.6
4. 企業の発展につながるとは思えないから	21.3
5. ワーク・ライフ・バランスの考え方がまだ社会全体に根付いていないから	43.6
6. その他	4.3
無回答 3.2	

無回答の割合：%

問29. 貴事業所では、「ワーク・ライフ・バランス」を推進するために、次のような制度を設けていますか。次のア～シについて、あてはまるものを選び番号にOをつけてください。また、制度が「ある」と答えた事業所は...その制度の利用者の有無（男女別）についてもお答えください。

※制度ありとは：就業規則等、文書で規定されていることや、慣行としてあることをいいます。

	制度の有無		利用者の有無					
	ある	ない	女性		男性			
			いる	いない	いる	いない		
ア 育児・介護のための短時間勤務制度	71.3	19.9	8.8	45.5	47.0	5.0	79.5	7.5
イ 従業員の自己研鑽のための短時間勤務制度	6.0	81.0	13.0	29.7	54.1	27.0	62.2	16.2
ウ 従業員の自己研鑽のための休暇制度や講習料助成制度	30.8	57.5	11.7	51.6	34.2	73.2	14.7	14.2
エ フレックスタイム制度	12.5	75.9	11.7	59.7	27.3	55.8	29.9	13.0
オ 在宅勤務（テレワーク）制度	2.4	85.1	12.5	73.3	20.0	33.3	33.3	6.7
カ 短時間正社員制度	7.9	80.1	12.0	55.1	32.7	14.3	69.4	12.2
キ 地域限定正社員制度	6.8	80.7	12.5	73.8	11.9	64.3	16.7	14.3
ク ハートタイム労働者のうち、希望するものを正社員に登用する制度	30.1	57.4	12.5	53.2	34.9	44.1	40.9	11.8
ケ 正社員とパートタイム労働者との相互転換制度	7.3	79.3	13.5	46.7	26.7	28.9	35.6	26.7
コ 再雇用制度	50.4	39.7	9.9	36.3	42.8	57.6	25.4	20.9
サ メンタルヘルスに係る相談窓口の設置など	39.5	48.9	11.5	29.1	53.7	31.6	50.8	17.2
シ その他	0.5	—	99.5	100.0	—	33.3	—	—

(注)・子どもの年齢ではなく年齢等を決めている場合は、子どもの年齢に換算してお答えください。

ア. イ. 短時間勤務制度とは：通常の所定労働時間より短い所定労働時間を設定すること（原則6時間）、労働基準法に基づく「育児時間」を含みません。

エ. フレックスタイム制度とは：1カ月以内の一定の期間の総労働時間を定めておき、労働者がその範囲内で各日の始業及び終業の時刻を自由に選択して働くことをいいます。

カ. 短時間正社員制度とは：フルタイム（1日の所定労働時間が8時間程度で週5日勤務を基本とする）の正社員と比べて、1日の所定労働時間又は1週間の所定労働日数が短い社員のことをいいます。

サ. メンタルヘルスケアとは：事業所において事業者が講ずるよう務めるべき労働者の心の健康の保持増進のための措置のことをいいます。

単位の無い数値：9%

セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。

問 30. 貴事業所では職場におけるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の問題についてどのような取組をしていますか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

(注) セクシュアル・ハラスメントとは：職場における、相手の意に反する性的言動。従業員の就業環境を害したり、対応次第で従業員が労働条件で不利益を受けたりするものを含みます。

- | | |
|--|----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. セクハラは許さないと方針を立て、周知している 50.4 2. 就業規則等で、セクハラ防止対策措置を規定している 52.4 3. 従業員に対してセクハラに関する研修等を行っている 22.9 4. 管理職に対してセクハラに関する研修等を行っている 21.9 5. セクハラ防止のための組織（人権擁護組織等）を設けている 7.5 6. セクハラ防止に関する相談窓口を設けている（外部委託を含む） 36.6 → 問 30-1ハ 7. 労使による苦情処理委員会を設けている 4.2 8. 特に何も配慮していない 18.8 9. その他 0.5 | 無回答 2.3 |
|--|----------------|

問 30-1. (問 30 で 6. と答えた事業所に) 貴事業所に設置しているセクハラに関する相談には誰が対応しますか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

(n = 226)

- | | |
|---|----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 人事及び労務管理を担当する社員や管理職等（兼務） 78.8 2. 人事及び労務管理以外を担当する管理職（兼務） 15.0 3. 人事及び労務管理以外を担当する社員（兼務） 10.6 4. 医師、保健師、臨床心理士、産業カウンセラーなど 16.4 5. 外部の専門機関 16.8 6. その他 9.7 | 無回答 0.4 |
|---|----------------|

問 31. 貴事業所では過去3年間に、セクハラに関する相談等がありましたか。あてはまるもの **1. 2** に○をつけてください。また「あった」と答えた事業所は、その件数もご記入ください。

- | | |
|---|----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. あった 10.2 (件数： 1.68 件) → 問 31-1ハ 2. なかった 88.0 | 無回答 1.8 |
|---|----------------|

※ 1回の事件で同一労働者から複数回の相談があった場合は、1件として計上してください。

単位の無い数値：9%

問 31-1. (問 31 で 1. と答えた事業所に) セクハラが起こった後に、どのような対応をしましたか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

(n = 63)

- | | |
|---|----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害者から事実確認のために事情を聴取した 93.7 2. 被害者から、どのような解決方法および事業所の対応を望むか聴取した 68.3 3. 加害者とされた者から事実確認のために事情を聴取した 90.5 4. 事実確認のため周辺（第三者）に対しヒアリングを行った 68.3 5. 被害者に対し、不利益回復（人事考課、昇給、業務内容、職場環境、人間関係等で不利益を被っている場合）を行った 25.4 6. 被害者に対しメンタルケアを行った 36.5 7. 加害者の配置転換を行った 31.7 8. 被害者の配置転換を行った 7.9 9. 対処した内容や経過について被害者へ説明を行った 60.3 10. 上司等から加害者に対し注意を行った 69.8 11. 就業規則に基づき、加害者への制裁（けん責、出勤停止、諭旨解雇、懲戒解雇等）を行った 50.8 12. 再発防止のために加害者に対する研修を行った 19.0 13. 再発防止のために職場環境の見直しや周知・研修を行った 28.6 14. 被害者若しくは加害者に対し、当事者間で解決するように指導した 0.0 15. その他 1.6 16. 特に何もしていない 0.0 | 無回答 9.9 |
|---|----------------|

行政への要望についておたずねします。

問 32. 男女が共に活躍できる職場づくりを行う上で、行政にどのようなことを望みますか。特に希望するものを **3つまで** 選び○をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる優良企業の表彰、紹介 6.2 2. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる企業の入札等での優遇 7.9 3. 企業を対象とした出前型無料セミナーの実施 13.6 4. リーダーや管理職を目指す女性の能力開発や意欲向上のための研修の実施 18.6 5. 企業を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する講座・研修会の実施 10.2 6. 市民を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する講座・研修会の実施 1.5 7. ホームページ、SNSなどによる情報提供 9.7 8. 男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発 12.0 9. 再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援 19.4 10. 育児・介護休業者に対する円滑な職場復帰のための講習会等の実施 6.5 11. 育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣 19.3 12. 在宅勤務（テレワーク）制度の導入支援 4.1 13. 保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実 60.1 14. 介護施設などの充実 39.1 15. その他 2.3 | 無回答 9.9 |
|---|----------------|

◎アンケートは以上で終了となりますが、最後にお尋ねいたします。

本アンケート調査とは別に、福岡市内の事業所を対象に個別インタビュー調査を予定しております。個別インタビュー調査では、アンケート調査からさらに一歩進んでご意見等を伺いたいと思っております。この調査は12月頃を予定しております。

貴事業所にて、個別インタビュー調査にもご協力いただければ幸いです。ご連絡を差し上げたいと思いますので、下記に事業所名と連絡先、ご担当者様のお名前をご記入ください。

貴事業所名	
ご担当者様のお名前	
ご連絡先 (Tel)	() —

これですべての質問が終わりまりました。もう一度記入もれや記入まちがいがいがないかお確かめの上、同封の返信用封筒にて**12月16日(火)まで**にご投函ください。
ご多忙のところ調査にご協力いただきありがとうございました。



福岡市女性労働実態調査

個人調査（男性従業員、女性従業員）

<調査ご協力のお願い>

福岡市では、市民一人ひとりが性別にかかわりなく、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するために、「福岡市男女共同参画基本計画（第2次）」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組みを進めているところです。

このたび、次期基本計画（第3次）の策定に向けて、本市に所在する事業所における従業員の就業実態を把握するとともに、ご意見を聴きたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年11月
福岡市

アンケート調査票は、記入後、同封しております封筒（切手不要）に入れて、
12月16日（火）までに郵便ポストに投函してください。

【記入上の注意】

- このアンケート調査票のご記入は、**男性従業員の方**にお願いいたします。
- 回答の記入は、各設問の指示に従って、該当する番号に○印もしくは所定の記入欄に数字をご記入ください。
- 各質問のご回答は、特に説明がない限り、あてはまる項目の番号に○をおつけください。質問文に「1つ」、「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
- 回答は、**平成26年11月1日現在**にてご記入ください。
- 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

【調査主体】 福岡市市民局男女共同参画課
TEL 092-711-4107
【調査実施機関】 (株) 西日本リサーチ・センター
TEL 092-751-7968

単位のない数値：%

あなたのお勤めの事業所についておたずねします。

問1. あなたが現在お勤めの事業所の業種はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
【男性従業員：N=1,051、女性従業員：N=1,171】

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 建設業 19.5、19.3 | 5. 卸売・小売業 19.3、20.1 | 9. 教育・学習支援業 4.6、3.5 |
| 2. 製造業 9.0、8.5 | 6. 不動産業 2.8、3.0 | 10. サービス業 13.9、13.5 |
| 3. 情報通信業 6.2、6.1 | 7. 飲食店、宿泊業 1.7、1.6 | 11. その他 3.4、4.6 |
| 4. 運輸業 5.7、5.6 | 8. 医療・福祉 10.8、11.7 | 無回答 3.0、2.6 |

あなたの職業経験についておたずねします。

問2. 今の勤務先での勤続年数は、どのくらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-----------------------|--------------------|
| 1. 1年未満 6.1、6.7 | 3. 5～10年未満 23.9、26.0 | 5. 20年以上 17.9、14.9 |
| 2. 1～5年未満 21.0、24.9 | 4. 10～20年未満 30.5、27.4 | 無回答 0.6、0.2 |

問3. 学校卒業後のあなたの職業経験に最も近いものは次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。仕事の中断期間（休職を含まない）が1年未満であれば「2」を選んでもください。

- | |
|---|
| 1. 卒業後ずっと今の会社で働いている 37.2、35.0 |
| 2. 会社は変えたが、卒業後ずっと働いている 60.2、43.8 |
| 3. 卒業後働いていたが、結婚の前後に仕事を辞め、何年かたってまた働き始めた 0.3、9.6 |
| 4. 卒業後働いていたが、配偶者の出産・育児の前後に仕事を辞め、何年かたってまた働き始めた 0.3、8.5 |
| 5. 卒業後働いていたが、介護の前後に仕事を辞め、何年かたってまた働き始めた 0.0、0.2 |
| 6. 卒業後働いていたが、配偶者の転勤で仕事を辞め、何年かたってまた働き始めた 0.0、0.8 |
| 7. その他 1.3、1.2 |
| 無回答 0.7、0.9 |

問4. あなたが働いている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 生計を維持するため 96.3、87.2 | 5. 生きがい・社会参加するため 33.4、39.5 |
| 2. 家計の足しにするため 6.9、22.5 | 6. 余暇時間を利用するため 2.7、3.9 |
| 3. 資格・技能を活かすため 16.0、11.4 | 7. 子どもに手がかからなくなったため 0.1、3.2 |
| 4. 以前の就業経験を活かすため 7.2、3.8 | 8. その他 1.0、1.3 |
| | 無回答 0.8、0.3 |

問5. あなたの現在の仕事内容は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 外部との折衝が多い 42.2、15.5 | 7. 筋力が必要 7.4、4.3 |
| 2. 出張が多い 19.1、1.9 | 8. 現場作業が多い 14.0、4.2 |
| 3. 高度な判断が必要 32.0、11.6 | 9. 接客サービス・販売 14.5、11.2 |
| 4. リーダーシップが必要 33.3、14.8 | 10. 定型的な仕事（ルーティンワーク） 41.2、67.5 |
| 5. 企画力が必要 25.8、10.7 | 11. その他 5.4、9.4 |
| 6. 売上目標（ノルマ）がある 16.7、3.0 | 無回答 1.1、2.8 |

問6. あなたの職務上の地位についておたずねします。(1)、(2)のそれぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 無回答の割合

- (1) あなたの職務上の地位はどれですか。
- | | | | |
|----------|--------------|---------------------|--------------|
| 1. 役員 | 2. 2. 2. 0.7 | 4. 係長相当職 | 13. 5. 6. 2 |
| 2. 部長相当職 | 11. 6. 1. 9 | 5. 主任・リーダークラス | 17. 2. 18. 4 |
| 3. 課長相当職 | 20. 0. 4. 4 | 6. 一般社員 (後職についていない) | 34. 8. 68. 2 |
- 無回答 0.7, 0.3

(2) 最近3年間にあなたの職務上の地位はかわりましたか。

- ※ 勤続年数3年未満の人も勤続年数内でお答えください。
- | | | | | | |
|---------|--------------|---------|------------|----------|--------------|
| 1. 上がった | 32. 2. 18. 5 | 2. 下がった | 3. 6. 1. 7 | 3. かわらない | 63. 6. 79. 3 |
|---------|--------------|---------|------------|----------|--------------|
- 無回答 0.7, 0.4

問7. あなたは、昇進・昇格についてどのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 昇進・昇格したい | 42. 8. 20. 8 |
| 2. 能力が発揮できれば昇進・昇格にはこだわらない | 37. 4. 38. 3 |
| 3. 責任が重くなるので昇進・昇格したくない | 6. 7. 16. 8 |
| 4. わからない | 10. 0. 19. 6 |
| 5. その他 | 1. 8. 2. 8 |
- 無回答 1.3, 1.6

問8. あなたの会社では次にあげる項目について、男女の取扱いが均等になっているか、ア～エの項目について、それぞれあてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

※ 雇用管理区分 (総合職、一般職など) が同じ男女を比較してお答えください。

	均等である	均等である程度	均等ではない程度	均等ではない	異性が多い	無回答
ア. 仕事の内容・負担	27.1, 22.3	35.6, 31.3	15.8, 17.4	12.4, 15.6	8.4, 12.6	0.8, 0.8
イ. 配置・人事異動	27.3, 20.1	35.4, 34.1	15.3, 15.5	12.4, 16.2	8.8, 13.1	0.9, 1.1
ウ. 教育訓練及び研修の機会	44.3, 34.4	29.4, 30.0	8.9, 9.7	7.7, 11.0	8.7, 13.3	1.0, 1.5
エ. 昇進・昇格	26.8, 18.4	33.5, 24.3	16.9, 18.2	12.1, 23.9	9.6, 13.9	1.0, 1.3
オ. 給与・賞与	37.0, 24.3	30.9, 26.0	11.2, 15.2	9.6, 19.2	9.8, 13.2	1.4, 2.0

※ 無回答の割合

問9. 今後どのような働き方を希望しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|--------------|---|-------|
| 1. 正規従業員 | 94. 9. 89. 4 | → | 問9-1へ |
| 2. パートタイム労働者 (契約社員を除く) | 0. 1. 3. 0 | | |
| 3. 派遣社員 | 0. 0. 0. 1 | | |
| 4. 契約社員 | 0. 7. 0. 7 | | |
| 5. 働きたくない | 2. 3. 3. 7 | | |
| 6. その他 | 0. 6. 0. 8 | | |
- 無回答 1.5, 2.4

問9-1. (問9で1.と答えた方に) その理由は何ですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(男性従業員 n=997、女性従業員 n=1,047)

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 定年まで働ける | 41. 9. 29. 9 |
| 2. 非正規従業員に比べて正規従業員の方が給与が高い | 14. 0. 14. 6 |
| 3. 昇給、賞与、退職金がある | 26. 6. 33. 7 |
| 4. 昇進がある | 1. 7. 0. 2 |
| 5. 能力開発のための研修が充実している | 0. 8. 0. 4 |
| 6. 福利厚生が充実している | 4. 6. 7. 6 |
| 7. その他 | 2. 8. 1. 7 |
- 無回答 7.5, 11.8

ワーク・ライフ・バランスについておたずねします。

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と家庭生活、地域生活、自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで生活できることをいいます。

問10. あなたの1週間の平均的な合計労働時間は、どのくらいですか (残業時間も含まれます)。

週 時間 **49.54, 44.59**

問11. 女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. ずっと職業を持っている方がいい | 38. 2. 53. 5 |
| 2. 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がいい | 2. 2. 1. 7 |
| 3. 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がいい | 3. 4. 2. 1 |
| 4. 子どもができた後職業を中断し、子どもが手がかからなくなったら再び持つ方がいい | 47. 3. 36. 7 |
| 5. 女性は職業を持たない方がいい | 0. 2. 0. 2 |
| 6. その他 | 6. 8. 3. 6 |
- 無回答 1.9, 2.1

単位のない数値：%

問12. あなたの生活の中で、仕事・家事（育児・介護等）、プライベートな時間（趣味など）の優先度はどのような感じですか。(1) 希望 (2) 現実のそれぞれについて、あなたの考えや現状に最も近いものを1...2選びOをつけてください。

- (1) あなたの希望に最も近いもの
- | | |
|---|------------|
| 1. 「仕事」を優先したい | 6.0, 3.5 |
| 2. 「家庭生活」を優先したい | 13.2, 13.2 |
| 3. 「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先したい | 5.2, 6.3 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい | 36.0, 31.7 |
| 5. 「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい | 7.8, 12.0 |
| 6. 「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい | 7.4, 7.4 |
| 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先したい | 22.0, 23.6 |
| 8. わからない | 1.2, 1.5 |
- 無回答 1.1, 0.9

- (2) あなたの現実に最も近いもの
- | | |
|--|------------|
| 1. 「仕事」を優先している | 51.4, 46.6 |
| 2. 「家庭生活」を優先している | 4.2, 6.1 |
| 3. 「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先している | 1.8, 2.3 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している | 27.5, 22.0 |
| 5. 「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している | 6.3, 9.8 |
| 6. 「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している | 0.5, 2.2 |
| 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先している | 6.0, 6.9 |
| 8. わからない | 1.4, 3.2 |
- 無回答 1.0, 0.8

問13. 「ワーク・ライフ・バランス」を推進するために企業にどのような取組みを望まれますか。あてはまるものを3つまでOをつけてください。

- | | |
|---|------------|
| 1. 経営者の意識改革 | 39.8, 34.5 |
| 2. 労働時間の見直し | 26.8, 23.6 |
| 3. テレワーク（情報通信技術を利用した場所・時間にとらわれない働き方）の導入 | 10.7, 11.2 |
| 4. 仕事の進め方や内容の見直し | 40.4, 35.5 |
| 5. ITを活用した業務の効率化 | 18.5, 13.8 |
| 6. 労働時間に関わらず、成果に応じて評価する制度の導入 | 18.9, 17.5 |
| 7. 従業員の働き方に関するニーズの把握 | 21.1, 24.6 |
| 8. 多様な休暇制度や短時間勤務制度の導入 | 28.7, 43.6 |
| 9. 複数の仕事をこなせる人材の育成 | 32.4, 26.1 |
| 10. 仕事や人の合理的な配分が可能な柔軟な組織づくり | 39.6, 36.9 |
| 11. 職場風土の改革 | 38.3, 37.1 |
| 12. ワーク・ライフ・バランス支援に関する情報の提供 | 9.8, 12.6 |
| 13. その他 | 1.4, 1.8 |
- 無回答 1.9, 2.9

単位のない数値：%

問14. 働き方と家事・育児・介護等（以下「家事等」）の夫婦の役割分担についてあなたはどう思いますか。次のアンケートの項目ごとに、あてはまるものを1...2選び番号にOをつけてください。
※ 配偶者がいない方もお答えください。

	そろそろ	そろそろ感がある	そろそろ感がない	無回答
ア. 育児休業をとのりたい	20.6, 17.8	31.2, 35.0	22.8, 28.2	23.6, 17.3
イ. 介護休業をとのりたい	23.8, 27.6	40.2, 44.5	19.1, 17.4	15.2, 8.5
ウ. 家事等は原則的に夫婦で担うのがよい	41.0, 48.4	44.7, 40.4	9.7, 7.5	3.3, 2.2
エ. 自分ほど急進・昇格が遅れても家事等を分担したい	11.0, 5.5	27.4, 18.6	37.2, 43.0	22.8, 31.0
オ. 自分が就業や接待等で帰宅が遅くなっても、家事等を分担したい	12.1, 5.2	33.9, 17.2	34.1, 42.3	18.2, 33.8
カ. 自分は家事等をすするよりも従業員を稼いだほうが家庭のためになると思う	11.4, 11.2	32.6, 32.1	31.8, 36.5	22.8, 18.3
ク. 家計を支えるのは基本的に自分の責任だと思う	60.9, 17.3	31.2, 43.6	3.9, 22.4	2.7, 14.9
ク. 家計は原則的に夫婦半々で担うのがよい	8.0, 11.0	22.1, 31.7	43.7, 41.5	24.7, 14.0

育児・介護休業制度についておたずねします。

問15. あなたは、育児が必要になった際に、会社の育児休業制度を利用しますか（利用しましたか）。次の中からあなたの考えに近いものを1...2つにOをつけてください。配偶者の出産予定のない方も、出産すると想定してお答えください。なお、育児休業は期間の途中に夫婦で交代してとることができます。

1. 利用する（した） 17.7, 59.9 2. 利用しない（しなかった） 57.8, 20.1 → 問15-1へ 3. わからない 24.3, 18.4
無回答 0.2, 1.6

問15-1. (問15で2. と答えた方に) あなたが育児休業制度を利用しない（利用しなかった）のはどのような理由からですか。主な理由を3つまで選びOをつけてください。
[男性従業員 n = 608, 女性従業員 n = 235]

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 子どもをみてくれる人がいるので必要ないから | 33.6, 9.4 |
| 2. 子どもは母親が育てるべきだから | 10.7 ※男性のみ |
| 3. 収入が減るので | 33.6, 11.1 |
| 4. 仕事を離れると昇進・昇格に影響するから | 11.8, 2.6 |
| 5. 元の職場に戻れるとは限らないから | 8.2, 15.3 |
| 6. 仕事を続けたいから | 14.8, 11.1 |
| 7. 仕事を離れると自分の能力が落ちるから | 8.1, 3.8 |
| 8. 育児休業を取れるような雰囲気ではないから | 39.3, 40.9 |
| 9. 職場に迷惑がかかるから | 57.4, 40.9 |
| 10. 退職するつもりだから | 0.2, 36.6 |
| 11. その他 | 4.3, 13.6 |
- 無回答 1.8, 1.3

単位の無い数値：96

問 16. あなたが育児をしながら働くことと仮定した場合、会社にどのようなサポート制度があればよいと思いますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

- 1. 短時間勤務制度 48.5、68.6
 - 2. フレックスタイム制度 46.2、44.8
 - 3. 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 40.2、52.8
 - 4. 所定外労働の免除 18.3、21.9
 - 5. 企業内託児施設の設置 24.4、29.4
 - 6. 病児のための看護休暇制度 27.0、50.8
 - 7. 在宅勤務（テレワーク）制度 22.2、21.1
 - 8. 会社が契約する保育サービス制度 23.7、28.4
 - 9. 保育料・託児料の補助や職資などの金銭的支援制度 46.7、47.0
 - 10. その他 0.2、0.6
- 無回答 1.3、1.8

(注) 1. 短時間勤務制度とは：通常の所定労働時間より短い所定労働時間を設定することをいい、労働基準法に基づく「育児時間」は含みません。

2. フレックスタイム制度とは：1か月以内の一定の期間の総労働時間を定めておき、労働者がその範囲内で各日の始業及び終業の時刻を自由に選択して働くことをいいます。

3. 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げとは：1日の所定労働時間を変更することなく、始業又は終業の時刻を繰上げ又は繰下げて働くことをいいます。

7. 在宅勤務（テレワーク）とは：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことをいいます。従業員は自宅等で勤務し、会社とはパソコンとインターネット、電話等で連絡を取ります。

問 17. あなたは、ご家族に介護が必要となった際に、会社の介護休業制度を利用しますか(利用しましたか)。次の中からあなたの考えに最も近いもの1.2に○をつけてください。現在家族を介護する必要がない方も、必要があると思定してお答えください。

- 1. 利用する(した) 38.5、54.1
 - 2. 利用しない(しなかった) 24.9、15.4
 - 3. わからない 36.3、29.1
- 無回答 0.2、1.5

問 17-1. (問 17で2.と答えた方に) あなたが介護休業制度を利用しない(利用しなかった)のはどのような理由からですか。主な理由を3つまで選んで○をつけてください。

(男性従業員 n = 262、女性従業員 n = 180)

- 1. 要介護者を見てくれる人がいるので必要ないから 21.8、13.3
 - 2. 期間が短いから 3.8、7.8
 - 3. 収入が減るから 38.2、26.1
 - 4. 仕事を離れると昇進・昇格に影響するから 13.0、3.3
 - 5. 元の職場に戻れるとは限らないから 9.9、18.3
 - 6. 仕事を続けたいから 13.4、12.8
 - 7. 仕事を離れると自分の能力が落ちるから 5.3、3.3
 - 8. 介護休業を取れるような雰囲気ではないから 38.9、46.7
 - 9. 職場に迷惑がかかるから 57.6、52.8
 - 10. 退職するつもりだから 2.3、16.1
 - 11. その他 4.2、5.0
- 無回答 1.5、2.2

単位の無い数値：96

問 18. あなたは、育児休業および介護休業を男性が取得できていることについて知っていますか。あてはまるもの1.2に○をつけてください。

- 1. 育児休業、介護休業の両方について知っていた 62.7、66.3
 - 2. 育児休業についてのみ知っていた 22.9、28.0
 - 3. 介護休業についてのみ知っていた 1.7、0.3
 - 4. 育児休業、介護休業の両方について知らなかった 11.9、5.0
- 無回答 0.8、0.5

問 19. あなたの職場で同僚が育児休業または介護休業を取得することになった場合、あなたはどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 職場を気にせず育児(介護)休業を取得してほしいと思う 54.2、49.4
 - 2. 他の男性の同僚も育児(介護)休業を取得しやすくなると思う 55.9、64.6
 - 3. 仕事と家庭の両立ができる職場づくりが進むと思う 42.9、51.4
 - 4. 配偶者に休んでもらえばよいのと思う 8.7、8.3
 - 5. 残された社員の負担が増えるので困ると思う 22.9、18.3
 - 6. 休むくらいなら退職してくれればよいのと思う 1.4、1.0
 - 7. その他 1.8、2.6
- 無回答 1.2、1.1

問 20. あなたの職場で女性の同僚が育児休業または介護休業を取得することになった場合、あなたはどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 職場を気にせず育児(介護)休業を取得してほしいと思う 75.5、63.7
 - 2. 自分も休業する必要があるときは、育児(介護)休業を取得しやすくなると思う 37.2、69.9
 - 3. 仕事と家庭の両立ができる職場づくりが進むと思う 43.4、56.1
 - 4. 配偶者に休んでもらえばよいのと思う 1.0、0.8
 - 5. 残された社員の負担が増えるので困ると思う 12.0、15.8
 - 6. 休むくらいなら退職してくれればよいのと思う 2.1、2.2
 - 7. その他 1.1、2.3
- 無回答 1.4、0.9

セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。

問 21. 最近3年間に、職場でセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(注) セクシュアル・ハラスメントとは：職場における相手の意に反する性的言動。従業員の就業環境を害したり、対応次第で従業員が労働条件で不利益を受けたりするものをいいます。

- 1. 男性の同僚が被害を受けたことがある 1.3、1.4
 - 2. 女性の同僚が被害を受けたことがある 7.9、8.4
 - 3. 自分が被害を受けたことがある 1.8、11.1
 - 4. ない 189.9、80.9
- 無回答 0.5、1.4

問 21-1. (問 21 で 1. または 2. と答えた方に) その時あなたはどのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
 (男性従業員 n = 87, 女性従業員 n = 107)

- 1.被害者の相談のつた 28.7, 55.1
 2.会社の上司、相談窓口相談した 18.4, 23.4
 3.労働組合に相談した 2.3, 0.9
 4.加害者に注意した 16.1, 11.2
 5.会社以外の相談機関（行政機関、カウンセラー、弁護士など）に相談した 3.4, 1.9
 6.何もなかった 49.4, 19.6
 7.その他 3.4, 6.5
 無回答 2.3, 3.7

問 21-2. (問 21 で 3. と答えた方に) その時あなたはどのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
 (男性従業員 n = 19, 女性従業員 n = 130)

- 1.相手に抗議した 21.1, 12.3
 2.会社の上司、相談窓口相談した 15.8, 16.2
 3.同僚に相談した 5.3, 25.4
 4.労働組合に相談した 0.0, 0.0
 5.会社以外の相談機関（行政機関、カウンセラー、弁護士など）に相談した 0.0, 2.3
 6.家族または友人・知人に相談した 5.3, 23.8
 7.無視または我慢した 73.7, 70.8
 8.その他 0.0, 6.2
 無回答 5.3, 0.8

女性社員の活躍推進についておたずねします。

問 22. あなたの会社では女性活躍推進への取り組みが進んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1.進んでいる 49.6, 41.2 → 問 22-1 へ 2.進んでいない 49.3, 56.8 → 問 22-2 へ
 無回答 1.1, 2.0

問 22-1. (問 22 で 1. と答えた方に) あなたの会社で女性活躍推進への取り組みが進んでいると感じる理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 (男性従業員 n = 521, 女性従業員 n = 482)

- 1.産前産後休業・育児休業などの面立支援制度が充実し、女性社員の退社が減っている 48.2, 56.0
 2.女性の業務範囲（研究開発、マーケティング、営業など）が広がっている 27.1, 16.4
 3.女性の経営層・管理職が増えている 33.6, 28.4
 4.管理職ではないが、周りで活躍する女性が増えている 54.7, 44.2
 5.女性のキャリア意識が上がっている 16.5, 15.6
 6.長時間労働の慣習が改善されてきている 11.3, 11.8
 7.その他 2.7, 3.5
 無回答 0.2, 1.0

問 22-2. (問 22 で 2. と答えた方に) あなたの会社で女性活躍推進への取り組みが進んでいないと感じる理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 (男性従業員 n = 518, 女性従業員 n = 665)

- 1.産休・育休などの面立支援制度が不十分である 15.8, 20.0
 2.産休・育休などの面立支援制度があっても利用しにくい（できない） 21.4, 29.9
 3.女性の業務範囲が限定的である 51.2, 34.7
 4.男性優位の考え方が変わっていない 28.4, 51.9
 5.出産・育児などのため、男性に比べキャリアの形成が難しい 18.9, 22.4
 6.女性の経営層・管理職が少ない 45.2, 53.2
 7.長時間労働の慣習が改善されていない 15.8, 20.9
 8.女性のキャリア意識が向上していない 33.0, 33.2
 9.その他 4.8, 4.5
 無回答 2.5, 1.7

問 23. 女性の管理職を増やすために効果的な取り組みとして、あてはまるものを3つまで選び○をつけてください。

- 1.経営層・管理職層の意識改革 46.9, 50.4
 2.社内でのモデルケースとなる女性社員の充実 44.7, 44.2
 3.幅広い職種への登用 36.0, 26.0
 4.企業における継続的なキャリア研修 21.0, 25.4
 5.管理職登用の数値目標の設定 9.5, 5.8
 6.経営トップの強いリーダーシップ 17.7, 13.4
 7.メンター（助言・指導者）制度の推進 13.3, 19.0
 8.女性のネットワーク形成の促進 7.5, 12.0
 9.職場の上司とのコミュニケーションの推進 23.0, 21.8
 10.学校等教育機関におけるキャリア教育の推進 5.2, 6.4
 11.その他 2.2, 1.7
 無回答 3.9, 4.5

(注) **メンター（助言・指導者）制度**とは、所属する部署の上司とは別に、指導・相談役を担う社員が新入社員や先輩をサポートする制度のことをいいます。

単位の無い数値：%

行政への要望についておたずねします。

問 24. あみだは今後一層、男女が共に職場で活躍し、仕事と家庭を両立していくために、行政にどのようなことを望みますか。特に希望するものを**3つまで**選びV印をつけてください。

- 1. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる優良企業の表彰、紹介 **17.6、15.2**
- 2. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる企業の入札等での優遇 **14.0、10.2**
- 3. 企業を対象とした出前型無料セミナーの実施 **11.1、7.9**
- 4. リーダーや管理職を目指す女性の能力開発や意識向上のための研修の実施 **25.1、17.0**
- 5. 企業を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する講座・研修会の実施 **10.8、12.3**
- 6. ホームページ、SNSなどによる情報提供 **4.8、2.8**
- 7. 男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発 **25.7、21.1**
- 8. 再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援 **26.5、43.6**
- 9. 育児・介護休業者に対する円滑な職場復帰のための講習会等の実施 **9.9、11.4**
- 10. 育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣 **20.1、23.1**
- 11. 保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実 **57.0、67.1**
- 12. 介護施設などの充実 **27.7、32.1**
- 13. その他 **3.7、1.6**

無回答 **2.4、2.9**

----- 最後に、あなたご自身についておたずねします -----

F1. あなたの年齢について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 20歳未満 **0.1、0.1** 4. 30～35歳未満 **16.0、16.0** 7. 50～60歳未満 **14.6、13.1**
- 2. 20～25歳未満 **3.1、8.5** 5. 35～40歳未満 **21.1、17.1** 8. 60歳以上 **3.8、2.9**
- 3. 25～30歳未満 **9.7、13.5** 6. 40～50歳未満 **31.2、28.6**

無回答 **0.4、0.3**

F2. あなたの最終学歴について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 中学校 **1.3、0.2** 3. 専門学校 **11.6、10.8** 5. 大学・大学院 **59.6、35.1**
- 2. 高等学校 **21.1、28.7** 4. 短期大学・高専 **6.0、24.9**

無回答 **0.4、0.3**

F3. あなたは現在結婚していますか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 未婚 **27.3、54.8** 2. 既婚 **69.8、34.1** → **F3-1** 3. 離別別 **2.5、10.6**

無回答 **0.4、0.5**

F3-1. (F3で2. と答えた方に) 配偶者の職業について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

(男性従業員 n = 734, 女性従業員 n = 399)

- 1. 自営業・家族従業員 **3.0、11.0** 4. アリバイト・パート労働者 (派遣・契約社員を含む) **35.6、3.3**
- 2. 会社経営者・役員 **1.4、4.0** 5. 現在は仕事をしていない **33.1、3.5**
- 3. フルタイムの正規従業員 **26.7、77.7**

無回答 **0.3、0.5**

単位の無い数値：%

F4. お子さんの人数について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 0人 **33.2、49.5** 2. 1人 **16.4、12.3** 3. 2人 **31.3、15.8** 4. 3人 **10.8、4.0** 5. 4人以上 **1.9、0.8**

無回答 **6.5、17.6**

F4-1. (F4で2. ～5. と答えた方に) 末子について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

(男性従業員 n = 634, 女性従業員 n = 385)

- 1. 0～3歳未満 **25.7、17.1** 3. 小学生 **23.0、14.3** 5. 高校生以上 (16歳以上) **25.1、43.9**
- 2. 3歳～就学前 **18.1、15.3** 4. 中学生 **7.1、7.8**

無回答 **0.9、1.6**

F5. あなたの世帯について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 単身世帯 (一人暮らし) **18.9、30.7** 4. 父子・母子世帯 **6.5、17.3**
- 2. 夫婦のみ世帯 (内縁含む) **14.6、12.4** 5. 3世代世帯 (親と夫婦と子) **6.8、5.8**
- 3. 夫婦と未婚の子どもの世帯 **50.3、27.4** 6. その他 **0.9、2.0**

無回答 **2.1、4.4**

F6. あなたご自身の昨年 (平成25年) の年収について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 100万円未満 **0.7、3.0** 3. 300～500万円未満 **50.0、41.9** 5. 700～1000万円未満 **7.2、0.9**
- 2. 100～300万円未満 **13.3、44.7** 4. 500～700万円未満 **26.9、7.3** 6. 1000万円以上 **0.9、0.2**

無回答 **1.0、2.1**

F7. あなたの収入が家計の収入に占める割合について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 20%未満 **3.9、15.6** 3. 40～60%未満 **13.7、20.8** 5. 80～100% **59.6、36.7**
- 2. 20～40%未満 **3.6、17.3** 4. 60～80%未満 **18.4、6.7**

無回答 **0.9、2.9**

F8. あなたの勤務先での職種について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. 専門・技術職 (教員、看護師、保育士、SE、技術者等) **18.3、12.5**
- 2. 管理職 (課長以上の管理職、店長等) **26.9、4.1**
- 3. 事務職 (受付、秘書、一般事務員、経理事務員、医療事務員、OA機器のオペレータ等) **31.2、75.0**
- 4. 販売・営業職 (レジ、販売店員、外勤のセールスマン、保険外交員等) **13.3、2.4**
- 5. サービス職 (ウェイター・ウエイトレス、調理人、理容師、タクシー運転手等) **2.0、1.4**
- 6. 技能・労務職 (製造・組立工、縫製工、包装工、トレース、清掃員等) **4.0、0.9**
- 7. 運輸・通信・保安職 (トラック運転手、電話オペレータ、ガードマン等) **1.8、0.9**
- 8. その他 **0.7、0.4**

無回答 **1.8、2.4**

これですべての質問が終わりまりました。もう一度、記入もれや記入まちがいがいないかお確かめいただき、同封の返信用封筒 (切手不要) をご使用の上、**12月16日(火)まで**にご投函ください。

福岡市女性労働実態調査



個人調査（パートタイム労働者用）

＜調査ご協力をお願い＞

福岡市では、市民一人ひとりが性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するために、「福岡市男女共同参画基本計画（第2次）」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組みを進めているところです。

このたび、次期基本計画（第3次）の策定に向けて、本市に所在する事業所における従業員の就業実態を把握するとともに、ご意見を聴きたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年11月
福岡市

アンケート調査票は、記入後、同封しております封筒（切手不要）に入れて、
12月16日（火）までに郵便ポストに投函してください。

【記入上の注意】

- このアンケート調査票のご記入は、**パートタイム労働者の方**にお願いいたします。
※この調査における「パートタイム労働者」は、次の①、②のいずれかに該当する方です。
①1週間の所定労働時間が通常の労働者（正社員）よりも短い労働者
②事業所において、「パート」や「契約社員」、「嘱託」等の名称の印を問わず、常用労働者の中で正社員以外の労働者として処遇されている方を指します。ただし、学生アルバイトと派遣社員は除きます。
- 回答の記入は、各設問の指示に従って、該当する番号に○印もしくは所定の記入欄に数字をご記入ください。
- 各設問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をおつけください。質問文に「1つ」「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
- 回答は、**平成26年11月1日現在**にてご記入ください。
- 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

【調査主体】 福岡市市民局男女共同参画課
TEL 092-711-4107
【調査実施機関】 (株) 西日本リサーチ・センター
TEL 092-751-7968

単位のない数値：%

あなたのお勤めの事業所についておたずねします。

問1. あなたが現在お勤めの事業所の業種はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(N = 317)

1 建設業 12.3	5 卸売・小売業 15.1	9 教育・学習支援業 5.4
2 製造業 8.2	6 不動産業 2.2	10 サービス業 14.8
3 情報通信業 4.7	7 飲食店、宿泊業 2.5	11 その他 6.3
4 運輸業 4.7	8 医療・福祉 18.3	無回答 5.4

あなたの現在の勤務状況についておたずねします。

問2. あなたの勤務先での職種は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 専門・技術職（教員、看護師、保育士、SE、技術者等） 13.9
2. 管理職（課長以上の管理職、店長等） 0.3
3. 事務職（受付、秘書、一般事務員、経理事務員、医療事務員、OA機器のオペレータ等） 59.3
4. 販売・営業職（レジ、販売店員、外勤のセールスマン、保険外交員等） 3.8
5. サービス職（ウエイター・ウエイトレス、調理人、理容師、タクシー運転手等） 3.2
6. 技能・労務職（製造・組立工、縫製工、包装工、トレース、清掃員等） 12.3
7. 運輸・通信・保安職（トラック運転手、電話オペレータ、ガードマン等） 2.2
8. その他 1.3
無回答 3.8

問3. あなたの業務についてあてはまる主なものを2つまで選び○をつけてください。

1. 基幹的な重要度の高い業務 9.8
2. 正社員の補助的業務 62.8
3. 管理的業務 7.9
4. 比較的短期間で慣れることができる業務 36.0
5. 一定の経験年数が必要な業務 14.2
6. 正社員の定着が困難な業務 2.2
7. 経験や技術の評価の低い業務 13.2
無回答 2.8

問4. あなたは、現在の会社（事業所）で働き始めるときに、どのような方法で雇用契約を結びましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 雇入通知書などの文書による 75.1
2. 口頭による 19.9
3. その他 0.0
無回答 5.0

単位の無い数値：%

問5. あなたが現在の会社（事業所）で働き始めてからどれくらいの期間になりますか。

（1カ月未満は1カ月と教えてください）

5 年 31 ヶ月

問6. あなたの出勤日数、労働時間等について教えてください。

(1) 1週間の出勤日数 4.66 日
 (2) 1週間の平均的な合計労働時間（残業時間を含む） 週 29.38 時間

問7. 現在の会社（事業所）に雇用されたとき、雇用契約期間は決まっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.期間が定められている 52.1 → 問7-1ハ 3.その他 0.3
 2.期間は定められていない 40.7 4.わからない 4.1 無回答 2.8

問7-1. (問7で1.と答えた方に) 定められている期間は、次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(n = 166)

1.1ヶ月未満 0.0 3.3~6ヶ月未満 18.8 5.1~3年未満 46.7 7.わからない 2.4
 2.1~3ヶ月未満 1.8 4.6ヶ月~1年未満 26.7 6.3年以上 3.6

問8. あなたの現在の1時間当たりの賃金は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.700円台 18.3 4.1, 000円台 9.1 7.1, 300円台 2.2
 2.800円台 39.7 5.1, 100円台 3.2 8.1, 400円台 1.3
 3.900円台 14.5 6.1, 200円台 4.4 9.1, 500円台以上 6.3 無回答 0.9

問9. あなたは仕事内容が同様であると思う正社員と比べて、賃金が低いと意識したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.低いと意識したことはあるが納得できる 25.6
 2.低いと意識したことがあり納得できない 14.8
 3.低いと意識したことはない 34.4
 4.比べられる正社員がいない（わからない場合を含む） 24.0 無回答 1.3

単位の無い数値：%

問10. 年収や労働時間の調整を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1.調整している 36.0 → 問10-1ハ 2.調整していない 63.7 無回答 0.3

問10-1. (問10で1.と答えた方に) 調整している理由は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1.自分の給与が103万円を超えると、所得税を支払わなければならない可能性があるから 38.6
 2.自分の給与が103万円を超えると、配偶者の所得税計算の際に、配偶者控除を適用することができなくなるから 39.5
 3.自分の給与が141万円を超えると、配偶者の所得税計算の際に、配偶者特別控除を適用することができなくなるから 13.2
 4.自分の収入が一定額を超えると、配偶者の会社の配偶者手当がもたえなくなるから 16.7
 5.自分の収入が130万円を超えると、配偶者の健康保険・厚生年金等の被扶養者でなくなり、自分で健康保険等に加入しなければならないから 51.8
 6.労働時間が週の所定労働時間20時間以上になると雇用保険に加入しなければならないから 5.3
 7.正社員の所定労働時間の3/4以上になると、健康保険、厚生年金等に加入しなければならないから 14.0
 8.その他 5.3 無回答 1.8

あなたが働いている理由などについておたずねします。

問11. あなたが働いている理由は何か。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1.生計を維持するため 52.4 5.生きがい・社会参加するため 38.5
 2.家計の足しにするため 57.7 6.余暇時間を利用するため 15.1
 3.資格・技能を活かすため 13.9 7.子どもに手がつかなくなるため 17.0
 4.以前の就業経験を活かすため 20.2 8.その他 2.2 無回答 0.3

問12. あなたが現在の会社（事業所）で働くにあたって、パートタイム労働という働き方を選んだ最も大きな理由は何か。あてはまるもの3つに○をつけてください。

1.自分の都合の良い日や時間に働きたいから 32.2
 2.勤務時間・勤務日数が短いから 35.6
 3.仕事と比較的簡単だから 7.3
 4.やめたいときにやめやすいから 5.7
 5.残業がないから 15.1
 6.仕事と家事・育児・介護・看護を両立させたいから 47.0
 7.勉強・趣味・ボランティア活動など自分がしたいことを両立させたいから 9.8
 8.希望する仕事内容だったから 31.9
 9.自宅近くで働けるから 28.4
 10.非課税限度額（103万円以下）の範囲内で働きたかったから 13.2
 11.正社員として働ける動機先がみつからなかったから 18.6
 12.その他 7.3 無回答 0.3

問 13. あなたの過去の勤務経歴は、次のどれですか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。
単位の大きい数値：9%

1. 正社員として働いたことがある **84.9** → 問 13-1-A
 2. パートタイム労働者（パート、アルバイト、その他非正規従業員）として働いたことがある **42.0**
 3. 派遣社員として働いたことがある **10.1**
 4. その他 **0.9**
 5. 働くのは初めてである **1.3**
- 無回答 **0.3**

問 13-1. **(問 13で1. と答えた方に)** 最後に正社員として勤めた事業所を退職した理由は、次のどれですか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- (n = 269)
1. 解雇または会社都合による退職 **8.9**
 2. 結婚のため **36.1**
 3. 出産・育児のため **29.0**
 4. 家族介護のため **1.9**
 5. 配偶者の転勤のため **5.6**
 6. 自分の病気・けがなどのため **3.3**
 7. 定年制のため **7.4**
 8. 職場の人間関係のため **8.6**
 9. 職場に結婚・出産退職の慣行があったため **3.0**
 10. 仕事内容に不満があったため **7.4**
 11. 残業が多かったため **6.7**
 12. 賃金など待遇に不満があったため **3.3**
 13. 家庭との両立が困難になったため **10.8**
 14. その他 **6.3**
- 無回答 **1.5**

問 14. 今後どのような働き方を希望しますか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 正規従業員 **31.2** → 問 14-1-A
 2. パートタイム労働者（契約社員を除く） **55.5** → 問 14-2-A
 3. 派遣社員 **0.6**
 4. 契約社員 **6.6**
 5. 仕事は持たたくない **1.9**
 6. その他 **1.6**
- 無回答 **2.5**

問 14-1. **(問 14で1. と答えた方に)** その理由は何か。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。
 (n = 99)

1. 定年まで働ける **60.6**
 2. 非正規従業員に比べて正規従業員の方が給与が高い **59.6**
 3. 昇給、賞与、退職金がある **79.8**
 4. 昇進がある **12.1**
 5. 能力開発のための研修が充実している **15.2**
 6. 福利厚生が充実している **40.4**
 7. その他 **3.0**
- 無回答 **1.0**

問 14-2. **(問 14で2. と答えた方に)** その理由は何か。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。
 (n = 176)

1. 自分の希望の時間帯で働ける **81.3**
 2. 補助的業務が多いので、重大な責任を求められることが少ない **26.1**
 3. 専門的な知識や技術を求められることが少ない **16.8**
 4. 税金などの優遇措置がある **13.1**
 5. その他 **12.5**
- 無回答 **0.6**

問 15. あらゆる、現在の勤務先にどのような制度や施設を望みますか。あてはまるものを**3つまで**選んで○をつけてください。

1. 労働時間（日数）・時間帯（曜日）等をパートタイム労働者の希望に合わせて **15.8**
 2. 賃金（時給単価等）を上げる **46.4**
 3. 賞与（ボーナス）を支給する **32.8**
 4. 退職金制度を導入・改善する **21.5**
 5. 休暇制度を改善する **11.4**
 6. 雇用保険・社会保険の加入を図る **4.4**
 7. 教育訓練・研修を充実させる **6.3**
 8. 資格制度・能力給・人事評価制度を導入する **6.0**
 9. パートタイム労働者の希望や意見を聞く機会を設ける **11.4**
 10. 正社員への転換制度を設ける **14.2**
 11. 託児施設を設置する **6.0**
 12. 健康診断をパートタイム労働者にもおこなう **13.2**
 13. その他 **1.9**
- 無回答 **11.7**

問 16. パートタイム労働者の労働条件を整えたり、本人の能力がもって活用されるようにするために、行政にどのようなことを要望しますか。あてはまるものを**2つまで**選んで○をつけてください。

1. 職業情報提供や労働相談サービスの充実 **24.0**
 2. 託児所・保育所・学童保育など保育施設の充実 **39.7**
 3. 老人保健施設・在宅ケアシステムなど社会的な高齢者対策の整備 **19.9**
 4. 仕事に就く前に、知識や技術を身につけることができるような機会の提供 **21.8**
 5. パートタイム労働法や年金など関係する法律や制度の情報提供 **45.4**
 6. その他 **2.2**
- 無回答 **5.4**

..... 最後に、あなたご自身についておたずねします

単位のない数値：%

F 1. あなたの性別に○をつけてください。

1 男性 7.3	2 女性 92.7
-----------------	------------------

F 2. あなたの年齢についてあてはまるものに○をつけてください。

1 20歳未満 0.6	4 30~35歳未満 11.7	7 50~60歳未満 15.5
2 20~25歳未満 3.5	5 35~40歳未満 15.8	8 60歳以上 16.7
3 25~30歳未満 3.5	6 40~50歳未満 32.8	

F 3. あなたの最終学歴についてあてはまるものに○をつけてください。

1 中学校 2.2	3 専修学校 12.6	5 大学・大学院 18.9
2 高等学校 44.5	4 短期大学・高専 21.8	

F 4. あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

1 未婚 16.1	2 既婚 75.4	3 離死別 8.2	無回答 0.3
------------------	------------------	------------------	----------------

F 4-1. (F 4で2. と答えた方に) 配偶者の職業についてあてはまるものに○をつけてください。

(n = 239)

1 自営業・家族従業員 5.9	4 非正規従業員 (アルバイト・パート・契約社員・派遣等含む) 8.4
2 会社経営者・役員 3.8	5 現在は仕事をしていない 19.2
3 正規従業員 72.4	無回答 0.4

F 5. お子さんの人数についてあてはまるものに○をつけてください。

1 0人 19.6	2 1人 19.9	3 2人 44.2	4 3人 10.4	5 4人以上 0.3	無回答 5.7
------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	----------------

F 5-1. (F 5で2. ~5. と答えた方に) 未子は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

(n = 237)

1 0~3歳未満 8.9	3 小学生 16.9	5 高校生以上 (16歳以上) 42.2
2 3歳~就学前 17.7	4 中学生 11.4	無回答 3.0

F 6. あなたの世帯についてあてはまるものに○をつけてください。

1 単身世帯 (一人暮らし) 10.1	4 父子・母子世帯 8.5
2 夫婦のみ世帯 (内縁含む) 17.4	5 3世代世帯 (親と夫婦と子) 7.3
3 夫婦と未婚の子どもの世帯 52.1	6 その他 2.2
	無回答 2.5

F 7. あなたご自身の昨年 (平成25年) の年収についてあてはまるものに○をつけてください。

単位のない数値：%

1 50万円未満 11.7	4 130~150万円未満 7.6	7 300~500万円未満 4.7
2 50~100万円未満 24.3	5 150~200万円未満 11.7	8 500万円以上 0.3
3 100~130万円未満 26.2	6 200~300万円未満 9.8	無回答 3.8

F 8. あなたの収入が家計に占める割合の人数についてあてはまるものに○をつけてください。

1 20%未満 31.5	3 40~60%未満 14.5	5 80~100% 16.7
2 20~40%未満 27.8	4 60~80%未満 4.7	無回答 4.7

これまですべての質問が終わりまりました。もう一度記入もれや記入まちがいがいないかお確かめの上、同封の返信用封筒にて**12月16日 (火) まで**にご投函ください。

ご忙のところ調査にご協力いただきありがとうございました。

平成 26 年度
福岡市女性労働実態調査
報 告 書
平成 27 年 3 月

発行：福岡市市民局男女共同参画課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 号
T E L 092-711-4107
F A X 092-733-5785